

# 現代映像藝術論



[现代映像艺术论\\_下载链接1](#)

著者:風間 正

出版者: (小平) 出版文化研究会

出版时间:

装帧:B5判

isbn:9784921067120

映像における - 記憶・イメージ・時間 - の関係性を問い合わせる。

第1章 1970年代の思想と映像作家活動（概論；西欧における映画理論ほか）

第2章

1980年代の思想と映像表現（1980年代の思想状況；1980年代の西欧思想ほか）

第3章

1990年代の思想と映像表現（1990年代の思想の変化；フェミニズム映画論の視点ほか）

第4章

結論：二元論を超えるもの（松本俊夫の足跡；潜在性・現実化、そしてリアリティほか）

資料編（1980年代以降の実験映像作家活動；1990年代の映像作家活動ほか）

作者紹介：

風間正 [カザマセイ]

映像作家・映像理論家。1956年、東京生まれ。博士（芸術学）。中央大学文学部仏文学科卒業。1981年、TV制作会社テレフォース在籍中、Visual Brainsを結成。映像作家として活動を開始。マルチメディアを駆使した作品を発表する一方、ディレクターとして様々なジャンルの映像業務を手掛ける。また、現代メディア社会を風刺した作品は内外で受賞多数。現在も制作を続けている。明星大学情報学部教授／武蔵野美術大学非常勤講師（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

目录：

[現代映像芸術論 下载链接1](#)

标签

日本文学

2018

#日本

## 评论

[现代映像艺术论 下载链接1](#)

## 书评

[现代映像艺术论 下载链接1](#)